

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 500 V , DC 700 V			
	電 流	10 A	適合ケーブル		
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	2 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 1500 Vの電圧を1min印加する。	絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的	コネクタの挿抜力	—— の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 —— N 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構を除く。	挿抜力 40 N 以下	○	—
	繰り返し動作	2000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗： 4 mΩ以下	○	—
性能	耐振性	周波数 10～ 55～10 Hz/サイクル、片振幅0.75mm、5min/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、正弦半波3軸両方向各3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95 %中に 96 h 放置する。	①絶縁抵抗： — MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗：100 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55° C → 常温 → +85° C → 常温 時間 30 → 2～3 → 30 → 2～3 min を 5 サイクル試験する。	①絶縁抵抗： 100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 h放置する。	機能を損なうような、はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 h放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 h放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度380℃±10℃で3sソルダート部へ当てる。	外観に機能を損なう変形及び著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で3sのはんだ付けを行う。	はんだ付け面は、ピンホール、ぬれなし、はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—
	耐水圧性 (IPX8)	適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48h放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧 17.6kPaを 30s加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	TP. KOMATSU	20221019
			検 図	HY. KOBAYASHI	20221019
			担 当	HT. ZENBA	20221019
			製 図	KR. SUZUKI	20220922
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。(JIS C 5402)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-114569-81-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	RM15WTL P-4P (81)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0109-1886-3-81	△ 1/1